



アクテノン

NO. 85

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

■ 小澤寛 只今65歳!まだまだ行ける!～継続は力～



Office KAN第一回プロデュース公演
イヨネスコ著「授業」
14年6月4日～8日
七ツ寺共同スタジオにて

役者とは……未だに答えなど見つけ出せないまま40年の月日が経った。

私が役者を目指し舞台上に初めて立ったのは24歳の時。自己主張の苦手な私が何故舞台に魅かれたのだろうか?「継続は力」を信じ、今も見えない答えを探し求めている。若い頃は汗・泥・涙、がむしゃらに走っていた気がする。東京なんかには負けるか、名古屋を拠点に中央に打って出る意気込みがあった。全てプラス思考で夢や希望に満ち溢れていた。当時は劇団公演が主流で、ご多分に漏れず私も小劇団を結成し、年四回の公演を打っていた。その後、演劇人冒険舎を立ち上げ、そしてフリーに。この頃、アクテノンにはよく通ったものだ。

今こそプロデュース、ユニット、ワークショップ、市民劇が流行っているが、往時は劇団体制が厳しく、外部出演は中々容易ではなかった。あくまでも劇団活動が最優先の時代であった。そんな中、外部出演が許された。私のわがままに他ならぬ。

私は、演劇だけでなくバレエ、オペラ、狂言などのジャンルにも興味を示した。舟木淳氏から演技の基本を、木崎裕次氏から肉体を通して役に生きることを、今井良実氏からパッションを学んだ。芸を磨き、人を磨き、人間を追求し、現代人の代弁者でありたい。人は不完全であるからこそ、理想が必要である。理想という星が天に輝いてこそ私たちは歩いて行ける。私にとって、その星が役者である。役者とは、その心・技・体を用いるのではなく、その芸を磨き完成させた者。そのためには、良質な作品と出会うこと、人を好きになること、良い俳優と共演できること、良い演出家と出会うことが大切である。

小澤 寛 (OfficeKAN主宰 俳優)

昨年6月まで三年間、岡崎市の観光PR隊、グレート家康公「葵」武将隊の徳川家康役を務めた。これもまた、新しいものとの出会いであり、未知の世界。若い者に支えられ無我夢中で走り抜けた三年間であった。生涯現役を目指し精進する中、後輩の育成も我々の使命だ。先輩の背中を追い走って来た我々は、後輩にどんな背中を見せているのだろうか。人間の人間としての芝居を見ることができているだろうか。彼らと向き合っていて話し合うことが時には必要である。残された時間は、そう多くはない。生涯現役を貫くためにも心血注げる作品を選んで時間を費やしたい。

昨年、60の齢を半ばに一念発起、Office KANを立ち上げ第一回プロデュース公演を十年來の仲間力を借り催行。イヨネスコ著「授業」である。膨大な量の台詞覚えには、少々老いを感じないではいられなかったが、永年知らず識らずの内に染み付いた毒に気づいた公演でもあった。小澤寛、まだまだ行ける! 健さんではないが、「往く道は精進にして、忍びて終わり悔いなし」と生きたいものだ。

今、私は伊藤敬氏の真剣な眼差しの中、四月に公演する「ていんさぐの花」と向き合っている。戦争を語り継ぎ大きなメッセージをお届けするために。

※戦争を語り継ぐ演劇公演「ていんさぐの花」
～うちな-んちゆ(沖繩人)と
ヤンキーさむらい(日系人)

名古屋市東文化小劇場にて
4月16日から19日 全8公演

トピックス

■ 過激に解体・過劇に再生・カゲキカブキ



芝居を業として40年近くなる。わりと遅くて30才ごろから始め今69才。年2本の割合で作品を創り続けているので80本位は新しい試みに挑んでいる事になる。自分でもよくアキナイなと思う。最近作は昨年暮の「ハラ版・四谷怪談」サブタイトルに「カゲキカブキ」とつけた。

「カゲキカブキ」ってナンですか?って聞かれたら「うーん」とうなってからこう答える。「貧乏人による貧乏人のための歌舞伎」。

古くから今に伝わるモノは「安くてうまい」から続くと思うのだが、今の歌舞伎は「高くてまずい」になっている、と私は思っている。この先続く見込みがナイ。一番大きな理由は演る方も見物する方も「金がない者」は参加出来ないと思われているから。金持ちを底辺にしたピラミッドより、金持ちから貧乏人までを底辺にしたピラミッドの方が高くどっしりしたモノが出来ると安くてうまい芝居が創られる、見られる→ヨカッタヨカッタとなる。

二つ目は「もっと壊せ! カゲキに解体しろ!」社会とか今の時代にもっと赤裸々に素直になる。

原 智彦 (ハラプロジェクト主催)

ちゃんと見る、目をつぶらない、避けない。自分を疑い、壊す。今の世の中過激すぎる変化にさらされていると思うから、それに向かってモノを創りたいと思う。

今の世の勝ち組と言われている富ある人の生き方や国の生き方は必ず破綻するし、カッコ悪い。むしろ負け組と言われる人や国の生き方の方に実は未来につながる生々しい人と人のつながりが見える。

今の社会、フリーターやハケン社員から正社員に成り上がろうとする人が多いが、私の芝居に参加して正社員を辞めてあえてライフサイクルを自由にコントロール出来る職種に変わる人も多い。オモシロイ芝居を創るに一番必要なのは好きに時間を使える事なのだろう。

歌舞伎になじみのない若い人が歌舞伎の親玉、鶴屋南北原作「四谷怪談」を演じ、多くの歌舞伎になじみない人達に見てもらい、その上「名古屋演劇ペンクラブ賞」までいただいた。今回の作品創りに大いにカブつけられました。

アクテノン・シャワー

■ 『受賞おめでとうございます』

- ◇ 平成26年度名古屋演劇ペンクラブ賞
原智彦「ハラ版・四谷怪談」の
構成・演出・脚本・音楽・出演
遠山元「薩摩義士伝」の
潤色・演出・制作



刈馬演劇設計社PLAN-06「誰も死なない」
2014年10月2日～5日 ユースクエアにて

- ◇ 名古屋市民芸術祭特別賞
刈馬演劇設計社PLAN-06
「誰も死なない」

■ 図書のご寄贈ありがとうございます

ございました。

次の方から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

(敬称略)

● 小澤 寛



アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 actors team REBIRTH&team DOGS



我々は2013年、REBIRTHの信念に共感した者たちによって結成されました。東北復興支援チャリティ公演の実施やファンクラブの発足、定期的なコントライブの開催といった新たな試みに挑戦し続ける団体です。今までは二つのユニットに分かれていましたが、この度新チームを発足し、三つの演劇ユニットとなりました。それに伴って新チームのメンバーをまだまだ募集中です。気になった方はぜひともHPをご覧ください。

- ①2013年 ②10名
- ③『旗揚げ公演 Mother』/ナンジャール('14年) 『コント&一人芝居 JIGEN』/小劇場PICO('14年) 『東北復興支援公演』/熱田文化小劇場('15年)
- ④西野 次朗
HP:rebirth-act.jimdo.com
E-mail:rebirth.ticket@gmail.com

アクテノンに一言 いつもお世話になっております。大変利用しやすく、ありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いたします。

演劇 芝居屋ほりっとなもん



ほりっとなもんは名古屋近辺で活動するコメディ劇団で、現在は1人で他劇団とのコラボ・脚本提供・客演等を行っています。なお、他団体様へ無料でお手伝いも致します。人手が足りないようなら是非メールをください。また、パネルや人形立てのレンタルも行ってますのでHPを御参考ください。コラボ希望も大歓迎！
3月28日・29日 劇団わんだあず「生徒はいない」(脚本)
5月23日・24日 コラボ公演「ほりっとなもん☆わんだあず☆ふぁくとりー」それぞれユースクエアにて！！

- ①2012年 ②1名
- ③『ほりっとなもん☆わんだあず☆ふぁくとりー ～お芝居つめ合わせ～』/ユースクエア('14年)
- ④安江 元之
HP:www.3.hp-ez.com/hp/horitmon/page1
E-mail:horit_lemmon@yahoo.co.jp

アクテノンに一言 コラボの稽古では名古屋での練習場所が欠かせないので助かります。たまにしか利用できない当劇団にもスタッフの方は温かく大変有り難いです。これからも末永いお付き合いを宜しくお願い致します。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>NAGOYAダイヤモンドズ 公演 vol.7 『 僕らの失速ラプソディー 』</p>	<p>① 愛知県芸術劇場 小ホール ② 3月21日(土) 14:00 19:00、22日(日) 11:00 15:00 ③ 一般前売1,800円(当日2,000円) 大学専門学校生1,400円 高校生以下800円 ④ ☎090-6091-3415、0561-54-8984 (名古屋演劇教室) はせひろいち氏の書き下ろし新作を上演。三重県文化会館との連携企画もあり。</p>
<p>蒼天の猫標識 第五回公演 『 私のペットは食用牛 』</p>	<p>① G/Pit ② 4月24日(金) 19:30、25日(土) 14:00 19:00、26日(日) 12:00 17:00 ③ 前売1,000円(当日1,200円) ④ soutenneko@gmail.com 今回はシリアスな会話劇をお送りします。いつもとは何かが違います。</p>
<p>劇団 いがいと女子 『 いがいと女子なアナタのためのセステット 』</p>	<p>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 5月3日(土) 14:00 19:00、4日(日) 13:00 18:00、5日(月) 14:00 ③ 前売1,800円(当日2,000円) 学生1,500円(公演協力金) ④ ☎080-9112-5794 (劇団) オムエッグ企画より劇団名を改名し再出発いたします。女6人芝居、是非ご覧ください！</p>
<p>劇団サラダ 第23回公演 『 ココ。二〇一五 』</p>	<p>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア ② 5月15日(金) 19:00、16日(土) 15:00 19:00、17日(日) 13:00 17:00 ③ ¥2,000 (公演協力金) ④ ☎080-1611-3928 (玉腰) info_salad@yahoo.co.jp 太平洋戦争末期、南方戦線、とある島。私たちは「ココ」で生きています。</p>



編集発行/平成27年2月25日(年4回)

財団法人 名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

